



# 着用型体験メディアシステム



Kwansei Gakuin University

関西学院大学 理工学部人間システム工学科 教授 河野 恭之

## キーワード

ウェアラブル&ユビキタス 身体装着カメラ画像認識 実世界指向

## 研究の概要

日々の活動をコンピュータに記録させ、それを再現してユーザの想起を促す「体験メディア」を研究している。特にカメラを身体に装着しユーザが「見た」情報を常時獲得してユーザの「外部記憶」として蓄積しておき、必要になった時にその画像・映像を再生することで体験を「再現」できるよう、「モノ」や「場所」といった手がかりを用いた着用型記憶支援インタフェースを提案・試作している。

写真右は、置き忘れてしまった物を探すための着用型システム“i'm Here!”である。このシステムでは、身体装着カメラを用いてユーザが手に持っている物を常時認識しながら映像を記録しており、置き忘れに気付いた際には、探したい物を最後に認識したときの映像をユーザに提示することができる。



写真左は、把持物体認識のためにSONYと共同開発したカメラである。高速CMOSイメージセンサと点滅赤外線LEDアレイにより、リアルタイムに把持物体画像が得られる。



ウェアラブル国際会議2005ファッションショーにて  
(左：従来型、右：ファッション性を考慮した改良型)

## 研究の応用分野

記憶支援一般：人名忘却、忘れ物防止等日常用途から認知症対策等医療用途まで

## 関連業績（特許・文献）

Information Input System. アメリカ合衆国特許 第7006079号 (2006年2月28日登録)

## 研究紹介ページ

<http://www.hcilab.jp/~kono/Research/AugmentedMemory/index.html>



関西学院大学 研究推進社会連携機構

<http://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/>

Tel. 079-565-9052 / Fax. 079-565-7910 E-mail: ip.renkei@kwansei.ac.jp